opusdei.org

「恐れずに進みま しょう!」、国内初 の列福式

ペトロ岐部と187殉教者の列 福式にセイドー文化センター から12人の学生が参列した。

2008/12/16

江戸時代初期に日本各地で殉教したペトロ岐部らが11月24日に列福された。1603年から1639年にかけて、様々なかたちで迫害や拷問を受けて殉教した188人の日本人男女信徒、司祭、修道士。カトリック教会は、

殉教者が神様と人々への愛を英雄的 に証ししたことを認め、彼らを福者 にすることによって、日本のキリス ト信者への模範にするのである。

列福式の一ヶ月前から芦屋市(兵庫 県)にあるセイドー文化センターで は、高校生・大学生を対象として殉 教者の歴史と信仰を学ぶ機会を提供 した。そして、式に参列するため に、12人の学生が、神戸からフェ リーに乗り、福者となったペトロ岐 部の出身地である大分に渡り、全国 の信者が集う長崎へと巡礼の旅をし た。信徒発見の舞台である大浦天主 堂、日本二十六聖人記念館などを訪 れ、日本カトリック教会のふるさと である長崎を巡り、自分の信仰を強 めるきっかけとした。仁川学院の高 校一年生のたが健介(15)は「この 長崎巡礼に参加して改めてキリスト 者としての生き方を覚えさせられ た」と述べた。

当日、小雨の中にもかかわらず大阪 教区の信者が数多く集まった席に、 池長大司教様が来てくださった。国 内外から約3万人といわれる大勢の 信者とともに、列福の儀、そしてご ミサにあずかった学生たちは、福者 の生涯について語られた前東京大司 教白柳誠一枢機卿と教皇代理のジョ ゼ・サライヴァ・マルティンス枢機 卿の言葉に耳を傾けつつ、自分の生 き方を考えなおす機会とした。「僕 は迫害時代に生きていないけれど も、殉教者のように自分の信仰を宝 物にして、イエス・キリストの証に なるべきだと思う」と大阪大学大学 院生のベネズエラ出身のオルティ ス・シモン(24)は語った。

白柳枢機卿が説教を締めくくった言葉「恐れずに進みましょう!」を思いながら、京都産業大学の尾形光洋(22)は「福者が経験した困難は、現代に生きている私たちには想像しにくい。しかし、私たちは彼らが示

してくれた信仰の力で、日々の小さなつまずきを超えることができる」と述べた。

*セイドー文化センター・国際男子 学生会館(www.seido-cc.org)は 1959年に設立され、中・高校生、大 学生、青年社会人を対象とした文化 的な活動のほか、人間形成やキリス ト教に関するセミナーなどを提供す る男子学生寮。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/kong-rezunijin-mimashiyou-guo-nei-chu-nolie-fu-shi/ (2025/11/21)